

■ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい
■本書はいつでも見られるように、大切に保管して下さい

12-10 040137403

Mister AUTO 蓄圧式噴霧器

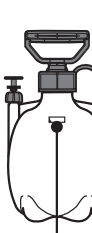
家庭用 園芸薬剤専用
HS-Eシリーズ取扱説明書

安全上のご注意

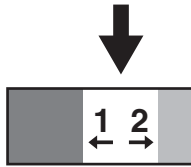
ここに示した注意事項は製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

- ⚠ 危険：人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される項目
- ⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される項目
- ⚠ 注意：人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される項目

ご使用になる前にタンク交換時期お知らせラベルの上紙を必ずはがしてください。



《上紙のはがし方》
白い上紙だけをはがすと濃色ラベルが見えます。



《ラベルの見方》

1側の濃色ラベルの色があせ、2側の水色と同じ色になったらタンクの交換時期です。



1と2の色の差が大きい



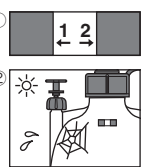
1と2が同じ色になったらタンク交換時期です

紫外線劣化するとだんだんと1の色があせて薄い色になっていきます

危険

タンクの交換目安は**ご使用開始後4年**です。4年未満であっても、次の場合はただちに使用を中止するか新品のタンクに交換してください。タンクが破裂する恐れがあります。

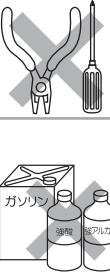
- ①タンク交換時期お知らせラベルが1と2同じ色になった時
- ②紫外線劣化によりタンクにクモの巣状の細かい亀裂が生じた場合



警告

改造は絶対にしないで下さい。故障や異常作動をし、ケガの原因となります。

噴霧器指定の薬剤以外や、強酸性・強アルカリ性の液体、可燃性の液体（ガソリン・灯油等）溶剤等は絶対に使用しないで下さい。タンクが破裂や爆発する恐れがあります。



薬剤使用上のご注意

注意

薬剤散布後はタンク内を洗浄後、清水を噴霧し、ノズルやホース内の薬剤も洗い流してから圧力を抜いて下さい。薬剤が残ると噴口やストレーナーがつまったり劣化による故障の原因となります。



散布の際は薬剤の付着や吸入を防ぐため、露出の少ない衣服（マスク・めがね・手袋等）を着用して下さい。

有機溶剤が多く含まれるトレフアノサイド・ゴーゴサン・スタム・DDVP等には使用できません。製品を变形させ、故障やタンク破損の原因となります。

園芸用のマシン油剤はお使いいただけます。工業油（ガソリン・灯油・潤滑油など）には使用できません。故障や破損の原因となります。石灰硫黄合剤は、ぬるま湯で溶かすと詰まりにくくなります。



故障かな？と思ったら

- ◎点検等で分解する場合は、必ずタンク内の圧力を先に抜いて下さい。
- ◎蓄圧式噴霧器は構造が簡単ですので、ほとんどの場合、お客様での修理が可能です。下記の「症状→原因→対策→処置」の手順でご確認下さい。処置後、症状が改善されない場合は修理をご依頼下さい。
- ◎修理をご依頼される際は、交換部品以外に、工賃・送料などが必要となりますのでご了承下さい。

症状

- ・噴霧しない
- ・霧の出が悪い

原因

- タンク内の圧力は上がる（安全弁レバーを引き上げると「シュ」と音がする。）
- タンク内の圧力が上がらない
- 各接続部より水漏れ
- ノズル本体より水漏れ
- ノズルのレバーが重い
- 噴口のつまり
- ストレーナーのつまり
- 圧縮不足
- 吐出ホースの折れ
- ポンプの締め付け不足
- ポンプ部Oリングの油切れ・劣化
- 安全弁Oリングの油切れ・劣化
- 吐出弁の劣化・紛失
- 圧縮不足
- ゆるみ・締め付け不足
- Oリングの劣化
- 油切れ

対策

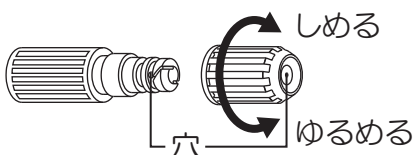
- 洗浄する
- 洗浄する
- 安全弁が作動するまで再加圧する
- 折れを直す
- ポンプを締め付ける
- 注油又は交換する
- 注油又は交換する
- 交換する
- 安全弁が作動するまで再加圧する
- 締め付ける
- Oリング交換
- 注油する

処置

- 処置A
- 処置B
- 処置C
- 処置D
- 処置E
- 処置F
- 処置F

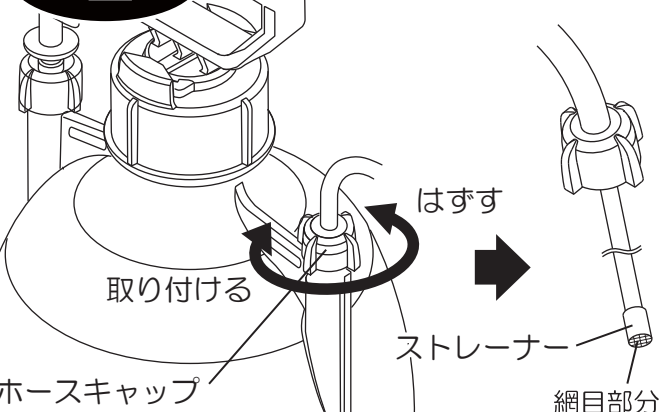
Oリングには定期的に少量のグリスを注油して下さい。油が切れると動作不良や水漏れの原因となります。※注油は純正品のグリス（シリコングリス PA-186）をご使用下さい。Oリング類、シリンダパッキン、吐出弁は純正品のHS-B/C/Eパッキンフルセット（PA-176）をご使用下さい。

処置A 噴口の洗浄



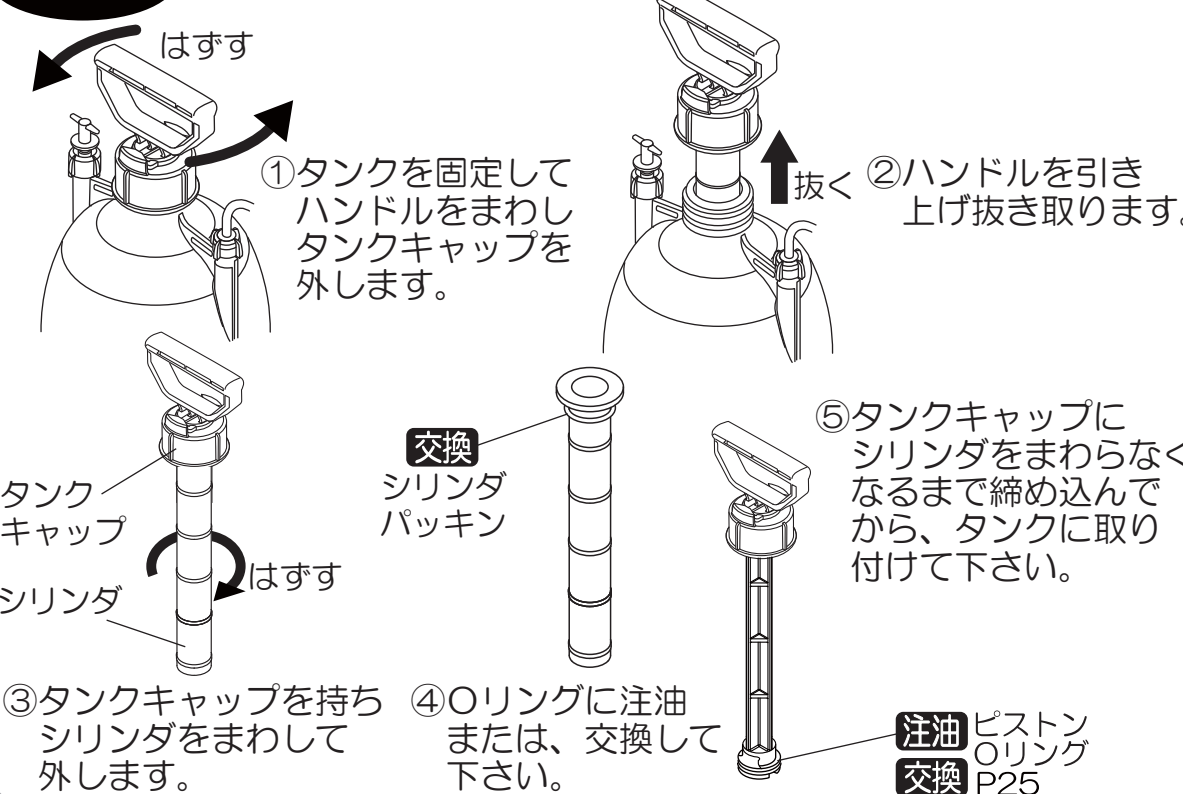
つまようじ等で穴のつまりを取り除いて下さい。

処置B ストレーナーの洗浄

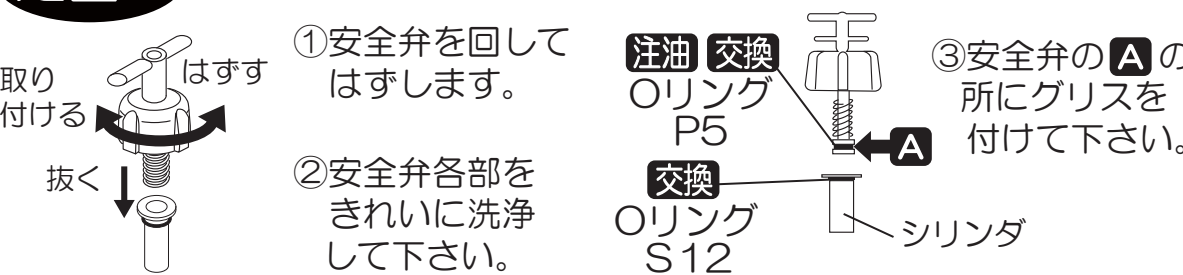


ホースキャップをはずし、ストレーナーの網目部分のつまりを取除いて下さい。

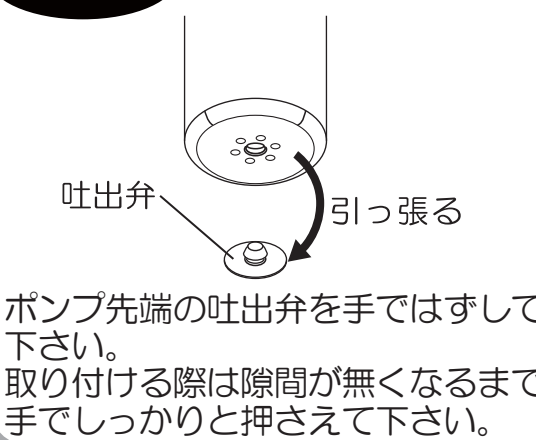
処置C



処置D 安全弁Oリングの注油・交換



処置E 吐出弁の交換



処置F ノズル部Oリングの注油・交換

